

令和元年  
伊豆市議会 9 月定例会

一 般 質 問

令和元年 9 月

令和元年伊豆市議会 9月定例会一般質問者と質問事項

9月3日(火) 午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	15 森 良雄	1 防犯カメラ	市 長	1
		2 狩野川の水質の悪化	市 長	2
		3 関野川の管理は何処がしていますか	市 長	
		4 働き方改革	市 長	3
		5 フロアーマネージャー	市 長	5
		6 花火	市 長	
2	13 西島 信也	1 市長の居住地はどこか	市 長	6
		2 パールタウン汚水の違法排水	市 長	
3	2 山口 繁	1 菊地市政3期12年の総括を	市 長	7
		2 あと半年後に迫った市長選への対応について	市 長	8
4	10 永岡 康司	1 伊豆市の人口減少問題と給付型奨学金制度について	市 長	9
		2 ふじさん駿河湾フェリーの今後の観光振興の進め方	市 長	11
5	7 杉山 武司	1 伊豆市公文書管理条例の制定に向けて	市 長	12
		2 伊豆市地域防災計画について	市 長	14

## 9月4日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ	
6	11 小長谷 順二	1 お試し住宅の活用	市 長	17	
		2 サテライトオフィス誘致	市 長		
		3 森林の維持管理	市 長	18	
7	3 星谷 和馬	1 議会報告会を振り返って	市 長	19	
		2 修善寺橋	市 長		
		3 狩野川大橋	市 長		20
		4 住宅地の造成	市 長		
8	14 杉山 誠	1 地域住民と多様なかわりを持つ「関係人口」の拡大による地域おこしについて	市 長	21	
		2 高齢者の移動手段確保に向けて「安全運転支援装置」普及のための支援策を	市 長		
		3 一人暮らし高齢者等の安否確認手段の充実について	市 長	22	
		4 中伊豆交流センターの今後について	市 長		
9	16 木村 建一	1 子育て支援で子育てしやすい伊豆のために	市 長 教育長	23	
		2 焼却可能な災害廃棄物処理に、広域処理の選択肢はないのですか	市 長		
		3 その後の東京ラスク工場拡張計画は進んでいますか	市 長		
10	12 小長谷 朗夫	1 一般質問等の答弁内容とその後	教育長	24	

## 9月5日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
11	1 波多野 靖明	1 デジタルサイネージの利用について	市 長	26
		2 マイナンバーカードの普及促進について	市 長	
		3 終活について	市 長	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 元年 8月20日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

発言の種別 (○で囲む) 一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問させていただいてます。	市 長
	6月議会からでも大きく変化しています。進化しています。	
	防犯カメラは日々、進歩しています。6月の質問からでも	
	防犯カメラの一層の進化が、変化がうかがえます。	
	市長は防犯カメラの導入には消極的なようですが、防犯カメ	
	ラには犯罪の抑止力に大きな効果があります。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、その抑止力は	
	半端ではありません。市長はどう考えますか。お聞きしたい。	
	総務部長は防犯カメラを市が設置することはないと言ってます。	
	それは、今でも、市長の考えも同じですか、伺いたい。	
	防犯カメラなくしては犯罪捜査も成り立たなくなっていますが	
	市長はどう考えますか。同意できませんか。	
	防犯カメラの防犯効果は犯罪捜査の上でも、犯罪防止効果とし	
	ても、抑止力は大きな効果を発揮しています。	
	7月には防犯カメラの抑止力の網がその効果とともに報じられ	
	ました。	
	今年上半期(1月～6月)の刑法犯認知件数が17年間連続	
	で減少していることを報じています。防犯カメラの整備で街頭	
	犯罪は割の合わない犯罪と言われるようになりました。	
	7月に発生した福岡県での殺人事件でも防犯カメラから犯人	
	逮捕に至ったことが報じられています。	
	市長はまだ防犯カメラの設置には否定的ですか。伺います。	

件名	内容	答弁を求める者
狩野川の水質の悪化	<p>狩野川の水質が悪化が進行しています。</p> <p>驚くほどの悪化です。以前は修善寺橋から眺めた水質の悪化を問題にしましたが、同様の水質の悪化が大仁橋でも見られるようになりました</p> <p>大仁橋から狩野川を眺めるときれいな水の流れを見ることができました。</p> <p>ところが今では狩野川の流れは異様な泡が浮かんでながれています。その泡ははるかな松下の瀬 付近から見えています。</p> <p>水質検査は実施しているということですが、最近の水質検査の状況はいかがですか。</p> <p>水質の悪化を示す排水検査の数値はありませんか。</p> <p>修善寺橋の上から水面を見てください。</p> <p>以前は透明でアユもよくみえました。今、橋の上からのぞいた狩野川の水には透明感がありません。</p> <p>水質汚濁の原因を調べる考えはありませんか。</p> <p>狩野川の水質を改善する考えはありませんか。伺います</p>	市長
関野川の管理は何処がしていますか	<p>関野川を関野橋から下流方向を見ると河原に碎石の山が見えます。</p> <p>建設部は承知していると思いますが、いかがですか。</p> <p>西日本豪雨以来、河川の流れを妨げる樹木などの障害物の撤去が進められています。</p> <p>この川の河川の管理責任は伊豆市にあると思いますがいかがですか。</p> <p>この碎石の山を築くのに伊豆市は関与していますか。</p> <p>碎石の山を築くにあたり、相談を受けていますか。</p> <p>それとも、誰かが勝手に碎石を投入したのでしょうか。</p> <p>土石流の危険もあると思いますが、今後の市の考えを伺いたい。</p>	市長

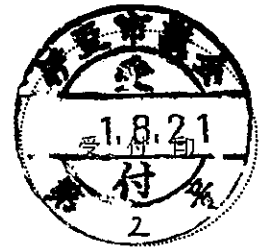
件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	いま、世を挙げて働き方改革です。	市長
	I T革命の話聞けば大半は働き方改革です。	
	働き方改革では職員の採用も大きな問題になっています。	
	伊豆市では市役所の職員の働き方改革をどのようにとらえていますか。市長の働き方改革についての考えを伺いたい。	
	クラウド化も働き方改革の一つだと思います。	
	伊豆市の電算機のクラウド化について伺います。	
	すでにクラウドの導入は進められているとも伺いますが、クラウド化の現状と今後のクラウド化の計画状況はいかがですか、予定はいかがですか、伺いたい。	
	三島市、伊豆市及び伊豆の国市の電算センターは今年度にクラウド化の計画が進められています。	
	この電算センターでは大きく68の業務があります。	
	伊豆市は68の業務のうち53業務を電算センターで処理しています。すなわち15業務は伊豆市で処理しているのです。	
	このへんは間違いありませんね、確認したい。	
	<input type="checkbox"/> 戸籍	
	戸籍民刑	
	戸籍副本データのバックアップ	
	要介護認定支援、介護度認定の公平性・事務の効率化	
	<input type="checkbox"/> 特定検診システム 特定検診の検診結果の入力、受診管理	
	上下水道の窓口業務、検針業務、調定業務、口座振替業務、	
	収納業務管理	
	<input type="checkbox"/> 農家台帳	
	障がい者福祉業務	
	水道企業会計に関する財務会計管理	
	土木積算管理、農林土木積算管理、図書館予約システム	
	<input type="checkbox"/> 農林土木積算システム	
	<input type="checkbox"/> 図書館予約システム	

件名	内容	答弁を求める者
	□施設予約管理	
	□畜犬管理	
	□総合行政ネットワークシステム	
	以上、15業務が伊豆市独自のシステムで処理していると理解してよろしいですか。	
	この15業務を三島、伊豆市及び伊豆の国市電算センター協議会のシステムに伊豆市のシステムを移行する考えはありますか。	
	1件ごとでもやるつもりはありませんか。	
	これら15システムは伊豆市の電算センターで処理されていると思いますが、すでにクラウド化されているものもありませんか。どれがクラウド化されているのか伺いたい。	
	これら15システムはそれぞれ、どのくらいの費用が掛かっていますか。伺いたい。	
	伊豆市の電算システムの予算は1億5千万円ぐらいだと思います。三市の電算センターへの分担金は約1億円です。	
	伊豆市独自の電算センターの費用はおよそ5千万円です。	
	この15業務が三市の電算センターへ移行できれば5千万円の節約ができると考えますが、いかがでしょうか。	
	当局の考えを伺います。	
	システム的な障害は考える必要はありません。移行できない理由を伺いたい。	
	システム的な障害はシステム的に解決できます。	
	システム的な障害はシステムの改良で克服できます。	
	システムは改良を待っています。	
	要はやる気だと思えますがいかがですか。	
	市長の考えを伺いたい。	



件名	内容	答弁を求める者
フロアー マネージャー	<p>伊豆市役所では来訪者の案内をするために、入り口に案内者            すなわち、フロアマネージャーと呼ばれる、しゃれた名称の            案内者がいます。</p> <p>一時間交代で案内業務についているとのことですが高給の            職員がたとえ1時間と言えどももったいないと思います。</p> <p>ホテルの案内係をロボット化しているところもあるようです。            人材不足が社会問題になっている時です。</p> <p>高給の職員を配置するのももったいないようにおもいます。</p> <p>フロアマネージャーのロボット化を考えてはいかがでしょうか            話題性もあると思いますが、いかがでしょうか。</p>	市長
花火	<p>新聞報道によると伊豆市は土肥と修善寺の温泉場の花火            大会で花火を打ち上げたそうですが事実ですか。</p> <p>伊豆市はお金がないお金がないと言ってますが、お金はどの            ように出てきたのでしょうか。</p> <p>お金の捻出先を伺います。</p> <p>花火の内容を伺います。</p> <p>それぞれ、どの程度の花火を何発打ち上げましたか。</p> <p>それぞれ、費用はいくらでしたか。</p> <p>花火の効果はどうでしたか。</p> <p>花火は誰に対して打ち上げたのですか。</p>	市長

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8 月 21 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 番 議員名 **西島信也**

No. 1

発言の種別	一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 市長の居住地はどこか	<p>菊地市長は市長就任以来 3 期を数えるが、どこにお住まいなのか知らない市民も多数存在している。</p> <p>市長は公人なので、どこに居住しているか明らかにしなければならぬので、住所を正確にお答えいただきたい。</p>	市長
2 パールタウン汚水の違法排水	<p>伊豆平パールタウンから排出されるし尿、雑排水が、適正に処理されず、大見川に流入していることは明らかであります。</p> <p>市当局はこのことを認めていないようだが、次の項目についてお尋ねします。</p> <p>① パールタウン内にコミュニティプラントの存在が、確認されていないとのことだったが、現時点では確認されたか。</p> <p>② 市はパールタウン内で単独浄化槽 166 基、合併浄化槽 47 基を把握しているとのことだが、設置届済みは何基か。</p> <p>③ パールタウン内には、永住者住宅 103 軒及び別荘 326 軒が存在しているが、②の浄化槽数と合致しないことを以前指摘したが、調査結果を明らかにされたい。</p> <p>④ パールタウン内の市道占有物件は、どのようなものがあるか明らかにされたい。</p>	市長

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8月 20日

伊豆市議会議長 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

発言の種別 (○で囲む) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">一般質問</span> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( )		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 菊地市政 3 期 12 年の総括を	<p>市長の 3 期 12 年の任期も残すところ半年余りとなりました。市長は、これまで一貫して、伊豆市の最重要課題は「人口減少に歯止めをかけること」であるとしてきました。</p> <p>就任した翌年の平成 21 年第 1 回定例会における施政方針で、そのことを表明しており、政策としては、住居（増やして世帯を誘致）、所得（増やして市内経済を安定）、職場（増やして転出を抑制）の大きくは 3 点について対策を打つべきだとしています。</p> <p>そして、3 選を果たした平成 28 年第 2 回定例会の所信表明において、「人口減少に歯止めをかける」という言葉こそは具体的に出て来ませんでした。所信の一丁目一番地と位置付けた第 2 次総合計画の実行・推進を第一の柱として組み立てています。第 2 次総合計画は伊豆市の将来像を見据え、まちづくりの重点目標を掲げていますが、そのなかでは人口減少や少子化に歯止めをかけることを最重要の課題としています。</p> <p>平成 29 年には、人口減少対策にも資するとされた文教ガーデンシティ事業が中止となりました。そのために翌 30 年には総合計画の前期計画を見直すという事態になりましたが、「人口減少に歯止めをかけること」について最重要課題であることに変わりはなく、それは一貫して市長の最大の公約と言えます。</p> <p>しかしながら、この 3 期 12 年の経過の中において、人口減少対策に関する「点としての政策」はあったとしても、それが「面に拡がり立体化していく」という展開を見定めることができず、さらには成果も見えず、結果的には人口減少に歯止めはかかっていません。</p>	市長

<p>2. あと半年後に迫った市長選への対応について</p>	<p>以下、質問をいたします。</p> <p>①今、述べてきたように、最重要課題であるとしてきた「人口減少に歯止めをかける」ということに関して、残念ながら結果としてその成果が出ていない状況にあります。市長の公約である最重要課題の解決がされていないことに関してどのように考えますか。</p> <p>②そのうえで、3期12年を振り返り、市政全般についての総括をしていただきたい。</p> <p>③市の最上位計画である第2次総合計画のスタートと市長3期目のスタートはほぼリンクします。そして、その前期計画と市長3期目も5年と4年の期間の違いはあるものの同様にリンクします。目玉の政策であり、大型開発事業であった文教ガーデンシティ事業が中止となりました。そのことにより、核となる部分を失った前期計画はスタート間もなく見直しされることになりました。現時点で、第二次総合計画・前期計画の執行状況をどのように評価するのか、またそれを踏まえて、後期計画策定に向けて課題となることは何なのかを示していただきたい。</p> <p>④今後の市政の中で、中止となった文教ガーデンシティ事業のような大型開発事業に着手する可能性があるかもしれません。その時に留意すべきは、文教ガーデンシティ事業の「失敗の本質」をどのように捉えているのかということです。そしてそのことをしっかり将来のために記録しておくべきだと思います。その「失敗の本質」についての市長としての分析、見解を求めます。</p> <p>およそこの世に存在する組織の長は、余程の事情がない限り、組織運営について10年をひとつの責任の区切りとしているのが一般的と思われます。</p> <p>市長の場合は1期4年という任期がある制約上、4年ごとの選挙に挑戦したうえで2期8年あるいは3期12年がその区切りに該当することになります。</p> <p>今回の質問の前段での3期12年の市政総括を踏まえ、あと半年後に迫った市長選について、現時点でどのように対応しようと考えているのか伺いたい。</p>	<p>市長</p>
--------------------------------	---	-----------

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8 月 21 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 永岡 康司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( ) )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
伊豆市の人口減少問題と給付型奨学金制度について	<p>現在、大学等への進学率の上昇や景気低迷などの社会情勢を反映して、奨学金の貸付規模は年々拡大傾向にあります。</p> <p>代表的な奨学金としては、日本学生支援機構の奨学金ですが、同機構の平成29年3月現在の調査によると、学生数に対する奨学金の貸付割合は、平成17年度で4人に一人、27年度で2.6人に一人、現在では2人に一人が利用するようになりました。</p> <p>又、労働者福祉中央協議会「奨学金に関するアンケート調査結果」では、利用者のうち34歳以下は、なんと2人に1人が、若い層ほど利用者が多い現状が見られるそうです。同調査によると、借入金総額の平均は3,129千円、月々の返済額は平均17千円で返済期間の平均は14.1年という。23歳で卒業した人は37歳までに、年間20万円以上の返済が続く計算になります。</p> <p>当然かもしれませんが、返済の負担感についても「苦しい」と回答した人は40%弱、中でも非正規労働者の場合は半数以上(56%)が「苦しい」と回答している。</p> <p>この様に、労働者自身の収入が減少する中で、奨学金の滞納が社会問題となっている。国としても、この厳しい現状にある子供たちに返済のいらぬ、給付型奨学金制度を17年度から創設しました。18年度には2</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>万人を対象に 2 万円から 4 万円を支給しています。</p> <p>又、2020 年度以降導入を目指している「高等教育無償化制度」では、返済が不要な制度でかつ生活費や授業料の減免の拡充を併せて、学業に専念できる環境を整えるとしているようです。</p> <p>静岡県では、医師不足を対象として「静岡県医学修学研修資金制度」を創設、月 20 万円最大 6 年で 1,440 万円を貸与し、研修終了後貸与期間の 1.5 倍（最長 9 年）以上を県内指定の医療機関に勤務すると返済が免除となります。</p> <p>平成 31 年 3 月現在 1,088 人がこの制度を利用して、返還免除のために 238 人が県内に勤務しているようです。</p> <p>国や県、各市町でも色々な施策を打ち出している中で伊豆市としても、人口減少・少子化等が進む現在、大学等に進学した人、静岡県外に転出した伊豆市出身者の U ターン又は O ターンを推進するため施策を考えなければならない時期に来ていると思います。前回の答弁の中から市長に伺います。</p> <p>① 給付型奨学金制度については、大変厳しい財政状況の中で財源確保が難しい。と言われましたが、どの位の財源の確保が難しいと考えていますか。</p> <p>② 県内でも導入する自治体はまだ少ない、だからできない？伊豆市独自の施策は考えられませんか</p> <p>③ 1 人の人に毎月何万円の奨学金補助金を出すのは、教育の観点から施策化は難しいといわれましたが、私は毎月数千円の奨学金を想定していたが、市長が毎月何万円の補助金とした根拠は？</p> <p>④ この制度を奨学金の補助だけと捉えるのでなく、</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
<p>ふじさん駿河湾フェリーの今後の観光振興の進め方</p>	<p>人口減少対策・少子化対策・慢性的な各産業の後継者や労働力不足・0ターンによる後継者の確保等必要と考えますが如何でしょうか。</p> <p>清水港と土肥港を結ぶ、駿河湾フェリーの運営が民間から県と駿河湾沿岸の6市町（静岡市・伊豆市・下田市・南伊豆町・松崎町・西伊豆町）でつくる、一般社団法人「ふじさん駿河湾フェリー」として設立、難波副知事が就任し、6月1日第一便が入港、伊豆市を始め西海岸の地元関係者によって盛大にお出迎えをしました。</p> <p>この事業は地域に多大な経済効果をもたらす事業であり、当面の目標である年間輸送人員20万人達成に向け、関係の県・各市町・関係団体と連携して事業推進に取り組んで行く、と言われております。市長の考えを伺います</p> <p>① 目標20万人達成するための方策はありますか</p> <p>② 応援する団体等の今後の事業の進め方は</p> <p>③ 伊豆市としての誘客運動やイベント等の考えは西海岸遊歩道を整備して、駿河湾と富士山の眺望を楽しみながらの宿泊（年間を通しての事業）など如何ですか</p>	<p>市長</p>

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8月21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉山武司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	質疑・反対討論・賛成討論・その他( )
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1 伊豆市公文書管理条例の制定に向けて	<p>静岡県がいよいよ公文書管理規程の明確化に向け見直しに着手しました。森友、加計学園問題などで国の公文書管理の在り方が問われたことが要因となっています。</p> <p>なぜ「文書管理」が必要なのか、一般的に考えると住民が情報開示請求を求めた時に、不開示の決定が下された場合に果たして文書が存在するのかわからないのが一番大きな問題です。文書は作成したが見つからなかった場合と初めから文書は作成していなかったことでは全く意味が違います。更には論外ですが開示を予想して文書を作成しないこともあり得ますし、また開示請求を受ける前に意図的に文書を破棄してしまうことも考えられます。</p> <p>静岡県行政経営推進委員会は平成30年12月26日に、県の公文書の在り方についての会合を持ちました。その席上、県は公文書管理条例の制定や文書管理規則改正の公文書管理の対応策を示し、事案の意思決定の過程を検証できるように課長等が共有する前の段階の文書を「公文書」と定義の範囲を広げるとしました。</p>		市長



件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>議論を重ね、行政経営推進委員会は平成31年3月27日に、平成30年度の意見書を知事に提出しました。意見書では文書管理に関して県政への信頼・関心の向上から県民参加への取り組みとして、「公文書を県民共有の財産として捉え、費用対効果や県民の利便性が高い保存や公開の仕組みを構築し、県政への信頼や関心の向上、その先の県民参加に繋げることを目的とする。」としています。</p> <p>公文書管理の在り方では、「公文書を管理・保存する目的、必要性、基本理念を明確にするとともに、職員の恣意的判断が入らない管理・保存基準を定める。更に公文書の電子化を進め、管理・保存に必要なコスト等のダウンサイジングや県民や職員が閲覧しやすい環境整備を整えること。」との意見を述べています。</p> <p>これらの経緯を経て令和元年7月18日、県では公文書管理条例の制定に向け、「静岡県公文書管理の在り方検討委員会」第1回会合を開き、今年度中に4回の会合を開き、来年度中の制定を目指すとしています。</p> <p>伊豆市の文書管理の場合、文書管理規程は令達文書の訓令にとどまっています。訓令とは一般的には、「市長その他の執行機関の長が、所属の機関又は職員に対して命令するもので法的根拠を有しない」とされています。伊豆市の訓令の解釈は、「所管の機関又は職員に対する職務執行上の基本的事項について命令するもの」と定めていますが、条例や規則といった地方自治法に基づいたものではありません。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2 伊豆市地域防災 計画について	<p>公文書管理を組織内の内部規程とせず、議会の議決を経た条例として制定し、可視化した文書管理とすることが行政の透明性と住民への説明責任を果たすことに繋がります。</p> <p>公文書管理条例を定めた先進的な市町の条例に定められている「実施機関における経緯も含めた意思決定に至る過程並びに実施機関の実績が検証できる文書を作成する」といった内容が伊豆市の文書管理規程には定められていません。</p> <p>公文書管理は民主主義の根幹であるはずで、「重要な行政の意思決定の経過が不明瞭」これでは市民が行政機関の必要な情報の開示を受けようとしても情報不足となり、現在の伊豆市の文書管理規程の運用では不十分といえます。</p> <p>行政機関の意思決定の透明性を以て説明責任とする行政の責務をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>伊豆市地域防災計画は「災害対策基本法」の規定に基づき、伊豆市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、災害時における社会秩序の維持と公共の福祉の確保を図るため、伊豆市の地域に係る防災対策の大綱を定めています。</p> <p>その大綱では、伊豆市及び行政区域内の防災関係機関並びに公共的団体、その他防災上重要な施設の管理者は、それぞれの所管事務又は業務を通じて、伊豆市の地域に係わる防災に寄与するものとして、伊豆市は基より国の出先機関や静岡県を始めとする指定機関それぞれが防災に対して処理すべき事務又は業務を定めています。</p>	市 長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>更に、災害発生前の災害予防計画や発生後の災害対応            応急計画、復旧・復興期等の対策の措置を詳細に定            めています。</p> <p>地域防災計画は数年ごとに見直されています。</p> <p>防災計画の共通対策編第2章第17節1では応急仮設            住宅（応急建設住宅）について、市は応急仮設住宅の            用地に関し、洪水、高潮、土砂災害等の危険性を十分            に配慮しつつ建設可能な用地を把握し、配置計画を作            成するなど、あらかじめ供給体制を整備するものと定            めています。</p> <p>更に、第3章第13節2の中で仮設住宅建設用地の            配慮については、飲料水、交通、教育等の便を考慮し            選定するものとする。市の所有地に適地がなく、私有            地に建設する場合は、所有者と市の賃貸借契約締結後            工事に着手するものと定めています。</p> <p>近年、三大都市圏を中心に取り組みが進んでいるの            が防災協力農地です。平成30年3月31日現在69            の自治体が、農地の所有者と協定を結んでいます。</p> <p>防災農地とは農家が所有する農地を、農家や農家の            同意を得たJAが自治体と「災害が発生したとき、そ            の農地を防災空間、仮設住宅建設用地等として利用す            る内容の協定」を自主的に締結するものです。</p> <p>協定の内容の主なものは、次の通りで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農地を避難空間として利用</li> <li>②仮設住宅建設用地や復旧用資材置場として利用</li> <li>③農産物を住民に優先的に供給</li> </ul> <p>をすとして災害時に限定しています。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>「静岡県を中心とした東海地域で、南海トラフ巨大地震が明日起こっても不思議ではない。」といわれる中、様々な対策が取られてはいますが、残念なことに伊豆市を始めとして静岡県内では防災協力農地の取り組みが見られません。</p> <p>このことを踏まえ、伊豆市の地域防災対策の取り組みの現状を伺います。</p>	

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8 月 20 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( <u>一般質問</u> ) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. お試し住宅の活用	<p>地方移住を希望する都市住民と全国の地方自治体とのマッチングを行う認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センターは、来場者を対象に、地方移住に関するアンケートを毎年実施しています。2018 年の移住希望地ランキングは昨年 3 位だった静岡県が 2 位に順位を上げました。ランキング 2 位の静岡県伊豆地域でも東伊豆町や南伊豆町などは移住・定住ポータルサイトを立ち上げ積極的に移住・定住施策に取り組んでいます。</p> <p>静岡県公式の移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」にも掲載され、本年 3 月からスタートした土肥地区の旧土木事務所官舎をリニューアルした 2 世帯が体験居住できる「お試し住宅」の活用頭について以下の質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 受付スタートから約半年の活用実績</li> <li>2) お試し住宅の PR について</li> <li>3) 移住相談の対応状況</li> <li>4) 市内の空き家物件の状況</li> <li>5) 移住体験ツアーの「伊豆市の暮らし方」の今後の展開</li> </ol>	市 長
2. サテライトオフィス誘致	<p>サテライトオフィスは、企業として人材の確保、固定費の削減、時間の効率化、生産性の向上、業務継続維持のバックアップ拠点などのメリットが挙げられ、地域にとっても、雇用の増加、移住の促進、消費の活発化、空き家や空き店舗の活用など、地域活性化につながると考えられており、全国各地に広がりを見せています。</p>	市 長

<p>3. 森林の維持管理</p>	<p>伊豆市でも昨年4月に東京のIT企業がサテライトオフィス第1号を小土肥の古民家に開設しました。</p> <p>当市の企業誘致の取り組みとしては、金融機関、大学、高校、企業団体等が集まって誘致の為の情報ディスカッション「伊豆市IT企業等誘致研究会」、NPOサプライズによる、静大生を対象に企業誘致の方策を提案する伊豆で地域づくりの実習や、IT企業などを誘致する「伊豆市サテライトオフィス体験・交流ツアー」などを開催しています。</p> <p>平成30年度予算で可決したICT企業誘致推進事業で閉園した旧狩野幼稚園をサテライトオフィスに改修し、進出企業の募集を行う事業の進捗状況や空き家等の活用の取り組みについて伺います。</p> <p>林野庁の報告によると我が国の森林の所有形態は零細であり8割の森林所有者は森林の経営意欲が低くその中で7割の所有者は主伐の意向すらないというのが現状のようです。</p> <p>森林の持つ機能は木材の生産のみならず、水源の涵養機能、災害、土砂流出の防止、二酸化炭素の吸収、地球温暖化の防止など様々な公益的な使命を持っています。かつて森林は木材の供給源として、また薪、炭の供給の入会地として経済的な価値、私有財産としての価値は極めて高かったわけですが、そのような価値は、現在では極めて限定的になってきています。</p> <p>森林は他の土地と同様に所有権の対象となっていることから森林を管理する権限と責務はその所有者にあり、森林所有者がその保有する森林の手入れを放棄したり、適切な整備及び保全を怠ったりすれば、森林の公益的機能は大幅に低下し、地域住民はもとより国民経済全体に大きな支障を及ぼすおそれがあります。今後少子高齢化など後継者不足で、森林の維持管理について公的役割、責任の分担が増えていくのではないのでしょうか。</p> <p>これらの課題に対して行政としてどのように向き合っていくのか伺います。</p>	<p>市長</p>
-------------------	--	-----------

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年8月21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 星谷 和馬

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	・ 質疑	・ 反対討論	・ 賛成討論	・ その他 ( )
発 言 の 要 旨						答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容					答 弁 を 求 め る 者
議会報告会を振り返って	<p>伊豆市の最大の課題は人口減少対策です。</p> <p>国の人口統計調査によると伊豆市の人口は、2045年に15,149人と半減し、高齢者の比率は60%にも達します。この数字に大変なショックと危機を感じ本年度の議会報告会みんなで語る会のテーマは「人口減少に伴う伊豆市の未来像」とさせていただきました。</p> <p>5月20～24日、4地区で議会報告会を開催しました。市民の方々から議会や市政に対し沢山の貴重なご意見、ご提案を頂きました。</p> <p>参考になることは、是非市政に反映させていただき、私の所見と合わせて質問します。</p> <p>2045年に</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊豆市の山間地域（集落、農地、山林）はどのようになると思われますか。どのような対策を考えていますか。</li> <li>2. 市街地（住宅、商業、工業）はどのようになると思われますか。どのような対策を考えていますか。</li> <li>3. 交通インフラ（バス、タクシー）はどのようになると思われますか。どのような対策を考えていますか。</li> <li>4. 地域産業（旅館、ホテル、観光施設、工業）はどのようになると思われますか。どのような対策を考えていますか。</li> <li>5. 伊豆市の財政は、市税は減少し、国、県からの交付金も減少が予想されます。対策を考えていますか。</li> </ol>					市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>6. 土肥地区は参加者が31名で最多でした。 熱く語り地域愛を感じました。その一部です。</p> <p>1) 港を拡張して大型クルーズ船が入港できるようにする。</p> <p>2) 観光産業の発展のなくして人口減少は止められない。</p> <p>どのよう思われますか</p>	
修善寺橋	<p>狩野川台風の後建設され築60年、老朽化、片側一車線と狭く大変渋滞しています。拡張、架け替えなど何らかの検討、対策はなされていますか。</p>	市長
狩野川大橋	<p>狩野川台風の後建設され築60年、老朽化、歩道が狭く大変危険です。狩野川水系で最も危険度の高い橋のようです。ご存じですか。何らかの検討、対策はなされていますか。</p>	市長
住宅地の造成	<p>牧之郷地区計画に続く新たな住宅地を造成する計画はありますか。</p>	市長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8月 20日

伊豆市議会議長 様

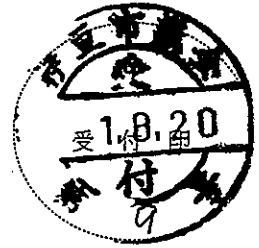
議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	・ 質疑	・ 反対討論	・ 賛成討論	・ その他 ( )
発 言 の 要 旨						答 弁 を 求める者
件 名	内 容					
1、地域住民と多様なかかわりを持つ「関係人口」の拡大による地域おこしについて	<p>関係人口とは、主に都市圏に住みながら、特定の地域に対して短期滞在やボランティア、特産品購入など、さまざまな形で継続的に関わる人々を指す。</p> <p>従来の地域おこしでは、居住する「定住人口」や観光に訪れた「観光人口」が指標とされ、それらを増やす取り組みが行われてきた。しかし、国内人口全体が減少する中で定住人口を増やすことには限界がある。当市においても人口減少に歯止めをかけることに力がそそがれてきた。</p> <p>さらに観光人口が増えても、直接的な地域の担い手にはなりにくいとされている。</p> <p>一方、若者のライフスタイルが多様化し、地方やシェアハウスなどへ関心が広がっているほか、会員制交流サイト（SNS）など人とかかわる手段も変化している。こうした中で、他者と関係性を持つこと自体に価値を置く傾向が強まっている。</p> <p>さらにこうした地域との関係性の深化が、最終的に移住に至っているケースも多い。</p> <p>政府も6月、地方創生第2期の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生基本方針」を閣議決定。地方への新しい人の流れを作るため、関係人口の創出・拡大に取り組むことを打ち出している。</p> <p>当市としても国のモデル事業や先進事例を学び、若者が地域と関わりを持つことを支援する仕組みづくりを進めてはいかかがか。</p>					市長
2、高齢者の移動手段確保に向けて「安全運転支援装置」普及のための支援策を	<p>1980年に約109万人だった70歳以上の運転免許保有者は、2018年には約1130万人と30年間で約10倍に増えている。</p> <p>これに伴い高齢ドライバーによる交通事故も増え、警察庁によると、75歳以上の高齢者が2018年に起こした死亡事故は、運転免許証を保有する10万人当たりの換算で8.2件、75歳未満の約2.4倍になる。</p> <p>事故原因の内訳は、運転操作の誤りが全体の30%を占め、このうちブレーキとアクセルのふみ間違いに起因する死亡事故の割合は、75歳未満が全体の1.1%であるのに対して、75歳以上は5.4%に達している。</p> <p>こうした中、免許証を自主返納する高齢者が増えているが、一方で、マイカーが日常生活に欠かせない高齢者も多い。</p>					市長

件名	内容	答弁を 求める者
3、一人暮らし高齢者等の安否確認手段の充実について	<p>公共交通による移動手段が乏しい本市にあつては、運転免許証を返納しては生活が成り立たない人が数多くいる。</p> <p>現在、新車については「自動ブレーキ」を搭載している車両は8割近いとのことだが、すでに販売されている自動車の半数が自動ブレーキを搭載した新車に入れ替わるには、10年近くかかるという試算がある。</p> <p>さらに高齢者にとって、車の買い替えは経済的負担が大きい。アクセルとブレーキの踏み間違いによる痛ましい事故が相次いでいる中、後付け可能な安全運転支援装置の開発・改良も進められている。</p> <p>また、東京都では7月31日より70歳以上のドライバーを対象に、急発進防止装置設置費用の9割を補助しており、豊島区では残り1割を区が補助している。</p> <p>自家用車に頼らざるを得ない本市の現状にかんがみ、また、悲惨な交通事故を防ぐ意味からも、補助金制度を設けて「後付け安全運転支援装置」の普及を進めてはどうか。</p> <p>一人暮らしの高齢者が増加する中、体調の異変を周囲に知らせることができずに重篤化し、誰にもみとられずに亡くなるケースがある。</p> <p>この独居者の死因調査では、倒れてから数時間以上（長いケースでは数日）にわたって生きていたと考えられる事例も少なからずあるとのこと。</p> <p>今の緊急通報システムでは、体調の急変時にボタンを押すことは難しい。このため、人感センサー等の機器を使った毎日の見守りシステムを提供している事業者もある。</p> <p>一人暮らし高齢者の日常の不安を和らげ、離れて暮らす家族の安心にもつながるように、緊急通報システムの見直しを考えてはどうか。</p>	市長
4、中伊豆交流センターの今後について	<p>本年4月1日から、中伊豆交流センター内の交流室、休憩室、相談室、給湯室が耐震性能が低いとの理由で貸し出しが休止されている。</p> <p>これまで「白岩の湯」を利用後、休憩室等を利用してゆっくり休憩していたものができなくなり、市外や地域外から訪れていた白岩の湯の利用者も急減しているとのこと。</p> <p>地域住民からは、地域の衰退感がますます増大しているとの声も聞く。</p> <p>利用の少ない公共施設の整理統合はやむを得ないと思うが、それによって地域の衰退感が進行することには抵抗がある。</p> <p>以前は中伊豆地区の中心拠点ともされたこの場所だが、住民交流センターの位置づけをどう考えるか。</p>	市長

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8 月 20 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 木村建一

No. \_\_\_\_\_

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	・ 質疑	・ 反対討論	・ 賛成討論	・ その他 ( )
発 言 の 要 旨						答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容					
1.子育て支援で子育てしやすい伊豆のために	<p>①伊豆市は人口減少危機宣言、少子化対策をかかげていても、その願いにはほど遠い現実があります。中でも、全自治体の約 1 割にあたる 176 市区町村は、3 年連続で人口が増えています。事例から学び、生かす施策を考えていますか。</p> <p>②医療保険制度の視点からではなく人口減少や少子化の対応策として子どもの均等割額の減免措置について前議会に続いてお尋ねします。医療保険制度に違いがあるとはいえ、国民健康保険だけ子どもに保険料負担を求めるのはいかがかと思います。せめて、第 2 子第 3 子の均等割減免に取り組みませんか。</p> <p>③教育費の中の教材費、修学旅行費についてお尋ねします。なぜ、保護者負担なのか。教育費は無償とする憲法を伊豆市の教育に反映させるために、公費負担を検討しませんか。</p>					市長 教育長
2.焼却可能な災害廃棄物処理に、広域処理の選択肢はないのですか	<p>市長は、地震津波によって発生する伊豆市の焼却可能な災害ゴミ 6723 t すべてを自己完結での処理を選択していますが、広域処理の選択肢はないのかお尋ねします。</p>					市長
3.その後の東京ラスク工場拡張計画は進んでいますか	<p>①工場拡張の事業計画は、どこまで進んでいるのでしょうか。</p> <p>②「市の意向と東京ラスクが工場拡大、拡張したいというタイミングが一致した」など一連のやりとりを確認できる記録文書は存在していますか。</p>					市長

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元年 8 月 21 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷朗夫

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( 一般質問 )	質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求める者
件 名	内 容		
1 一般質問等の答 弁内容とその後	<p>一般質問は、日常の議員活動の結晶であって議員一人ひとりが何を考え、何をどうしたいのか確認や提案・主張などの大切な場であり毎回興味深く拝聴しているところです。もう少し述べさせていただければ、ある議会では関心の深さから複数の議員が同内容の質問をしたり、新たな課題の提案だったり伊豆市民のために、それこそ多岐に亘る内容のやりとりが毎回行われています。</p> <p>しかし、自分自身の反省も込めて申し上げれば、責任をもって質問しているのですが、そのことがその後どうなったのか最後まで確認追求、検証しなかったことが多かった気がします。</p> <p>昨今評価に関しては、多業種で「PDCA サイクル」の手法で評価をし、次（来期、来年度）に進む業種も多いと聞いています。学校教育でも来年度の教育課程編成のため、これに似た手法で推進しています。今回はこのうちの C（チェック）をその後の検証とし、過去に教育委員会に質問した幾つかの事案についてその後をお尋ねします。</p> <p>① 「ジビエと学校給食」、献立導入と現状を伺います。 (H27.6月議会、前議員室野英子氏の質問)</p> <p>② 伊豆市 3 中学校基本方針に基づいた中学校統合の進捗状況について伺います。(H30.9月議会)</p> <p>・「新たな地」と今年度の業務内容</p>		教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>・ R7.4月までの不登校対策の現状と改善策</p> <p>③ 通学路のブロック塀等危険箇所の把握と改善策 (H30.9月議会)</p> <p>④ 普通教室設置のエアコン利用で特別なルールはある のか。(H31.3月議会・全員協議会での報告)</p> <p>⑤ 美術館基本構想に基づいた建設推進について(昨年度 末から今日までの進捗など)</p>	

# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 1年 8月 21日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 波多野 靖明

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他( )		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. デジタルサイネージの利用について	<p>時代はアナログからデジタルへ移り、デジタルは更に新しい時代に進んで行こうとしています。</p> <p>そんな中、駅構内やイベント会場、街中の店舗等でデジタルサイネージを身近に見かけるようになってきています。</p> <p>一つの画面上で多くの情報を表示することができ、新しい広告の形としても注目を集め始めている、電子看板「デジタルサイネージ」</p> <p>伊豆市に訪れた多くの観光客への案内看板、また市民へ地域情報、有事の際の防災情報をお届けする広報の一つとして準備していく必要があると考えますが如何でしょうか。</p>	市 長
2. マイナンバーカードの普及促進について	<p>8月20日の静岡新聞、朝刊の3面には「全公務員に個人番号カード」と、大きな見出しがあり、今年度末までに国・地方の全ての公務員にマイナンバーカードの取得を促すという記事が掲載されていました。</p> <p>平成30年12月議会でもマイナンバーカードの普及について一般質問させていただきましたが、その後 伊豆市としてなにか進捗があったのかお聞き致します。</p>	市 長
3. 終活について	<p>平成30年の9月に伊豆市の終活制度について、一般質問させていただいた時に、終活ノート・エンディングノートの活用を提案させていただきました。</p> <p>その後、伊豆市において終活制度に関する取り組みはどのように進んでいるのかお聞き致します。</p>	市 長